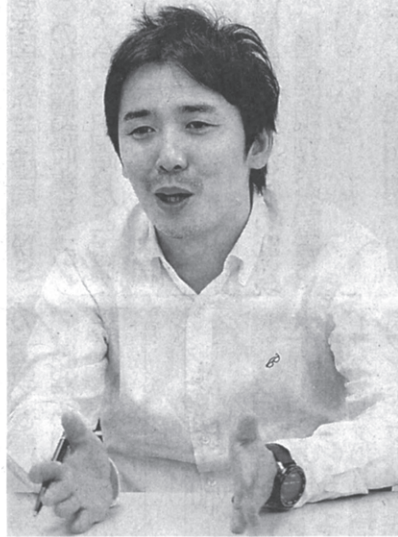


ひと 2014

おおはら ゆうすけ
大原 裕介さん



「「こちやまぜ福祉」を実践し10年目

障害者、高齢者、ボランティア
アらさまさまざまな人が交流を深
め、一緒にまちづくりに関わる
「こちやまぜ福祉」を提唱、実
践する。石狩管内当別町の社会
福祉法人ゆうゆうの理事長。前
身のNPO法人設立から10年目
を迎えた。「かつては誰にも理
解してもらえなかった発想が形
になってきた」と感じている。

付き合い方が分からず、「お互
いにぎこちなく、楽しくもな
った」。考え抜いた結果、目指
したのが「支援される側も主役
になる対等な関係づくり」だ。
ゆうゆうのレストランで働く
障害者たちは、地元農家に教わ
りながら食材の野菜を栽培す
る。介護を受けている人やボラ
ンティアの交流会では、高齢者
らが自らゲームなどの内容を決
める。「地域住民との関わりが
増えることで、まちが活気つい
てきたように思う」

同町と江別市の計12拠点を運
営。スタッフは常勤、非常勤を
合わせ約120人に上る。今で
は全国から福祉関係者ら年間約
千人が視察に訪れる。人口減少
に伴い、介護の人材不足や地域
産業の衰退といった問題の深刻
化が懸念されている。「福祉を
一産業として成立させ、課題解
決に向けて挑戦していきたい」。
当別町在住。35歳。

(山田崇史)